

# 大岩千穂ソプラノリサイタル

《世界の名曲たち》対訳字幕付

1部 世界の名曲から  
恋のアランフェス(ロドリゴ作曲)  
グラナダ(ララ作曲)  
光さす窓辺(ナポリ民謡)  
忘れな草(ナポリ民謡)  
浜辺の歌(成田為三作曲)  
この道(山田耕筰作曲)  
他

2部 プッチーニの愛した女性(ヒロイン)たち  
プッチーニのオペラから  
【ボエーム】より“私の名はミミ”  
【トスカ】より“歌に生き、愛に生き”  
【マダム・バタフライ】より“ある晴れた日に”  
【ジャンニ・スキッキ】より“私のいとしいお父さん”  
他

## Le adorate di Puccini

大岩千穂(ソプラノ) 佐藤正浩(ピアノ)

Chiho Oiwa (soprano) Masahiro Sato (piano)

2013年3月8日(金) 開演19時(開場18時) 場所 あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール

全席自由 5,000円(ホール友の会会員 ¥4,500)

18時20分より、本公演の解説プレトークを行います。是非少し早めに会場にお越しください。

主催:Opus.7(株式会社NGK)

協賛:あいおいニッセイ同和損保(株) あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール 大阪ガス株式会社 大阪ガス 後援:読売新聞大阪本社

チケットお問い合わせ:ザ・フェニックスホールチケットセンター TEL.06-6363-7999(土日祝を除く平日の10時~17時) e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

会場住所:〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10(梅田新道・東南角 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー) 主催:株式会社NGK

# Le adorate di Puccini

## 「世界の名曲たち」(対訳字幕付)

### 1部『時代を超えて歌い継がれる名曲の魅力を届けたい』

『魅力ある作品は永遠に歌い継がれて欲しい。初めて聴いた方にもそのすばらしさが伝わりますように』というのは大岩が大切にしていること。1部では、テノール歌手によく歌われる代表的なカンツォーネを情熱的に大岩のソプラノでお届けします。そして対照的な抑制された美をしっかりと歌う日本歌曲ほか。

### 2部『オペラ界のルノワール：作曲家ジャコモ・プッチーニ』

ルノワールが生涯、女性の肉体美、透明感、永遠を感じさせる無邪気さを描いたとするならば、プッチーニは、ひたむきに愛のある人生を生きぬく女性の一途さを見事な音楽で描き続けた女性賛美のさきがけといえます。彼の作品に登場するヒロインたちは、様々な欲望に翻弄されながらも最後は愛にたどりつく。お針子のミミ、歌姫のトスカ、武士の娘の蝶々さん。愛と出会い、ゆえに苦しむその姿をまるで、彼女たちの魂を癒すのは自分しかいないかのように、プッチーニは、次々と魅力的なヒロインたちに豊満で瑞々しい旋律を与え、彼女らの人生の一瞬に閃光のようなスポットライトを浴びせたのでした。今宵は、プッチーニが愛したヒロインたちが、再び舞台上に登場します。100年以上歌い継がれている名アリアの数々を通して、いつの世も絶えることのない男と女の不思議な機微をドラマ仕立てで歌い演じます。



大岩千穂  
Chiho Oiwa  
(soprano)

国立音楽大学卒業。ヴィオッティ音楽院オペラ科マスター・コース首席卒業。イタリア、フラヴィアーノ・ラポー国際声楽コンクール第1位。ヴェルディの声国際コンクール入賞。第1回国際オペラコンクールin Shizuoka最高位、及び三浦環賞他数々の国際コンクールに入賞。『椿姫』ヴィオレッタでイタリアデビュー後、98年サンタ・マルガレーテン・オペラ・フェスティバル(オーストリア)『カルメン』ミカエラで急速代役出演し大成功を収めた。その後モデナの劇場(イタリア)で『ドン・パスクアレ』ノリーナ、99年ハンガリー国立歌劇場『ラ・ボエム』ミミ、アスコリ・ピツェーノ歌劇場(イタリア)及びフェニーチェ歌劇場(ヴェニス)『蝶々夫人』でタイトルロールを歌い絶賛された。02年フロリダ・バームビーチ・オペラ『蝶々夫人』(レナータ・スコット演出)でアメリカデビュー。03年には名門チェコフィルハーモニー管弦楽団、ポリショイ劇場管弦楽団とヴェルディ『レクイエム』で共演。国内では新国立劇場、東京二期会、藤原歌劇団、兵庫県立芸術文化センター、びわ湖ホールなどで数々の作品に出演し観客を魅了し続けており、近年では06年兵庫県立芸術文化センター『蝶々夫人』(佐渡裕指揮)、『サロメ』(沼尻竜典指揮)、2010年愛知県文化振興事業団『ナブッコ』に出演し好評を博したのは記憶に新しい。『題名のない音楽会』、『深夜の音楽会』、NHKFMコンサートなど、テレビやラジオにも幅広く出演している。真のリリコの逸材としてさらなる活躍が期待されている。二期会会員。日本声楽アカデミー会員。2000年文化庁在外研修員として、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションの奨学生としてイタリアで研鑽。リクルート・スカラシップ新人賞、五島文化財団オペラ新人賞、村松賞、グローバル・東教子賞受賞。



佐藤正浩  
Masahiro Sato  
(piano)

東京藝術大学声楽科卒業。ジュリアード音楽院ピアノ伴奏科修士課程修了。ジュリアード修了後、サンフランシスコ・オペラのオーディションに合格、専属ピアニストとして研鑽を積む。指揮者ケント・ナガノの招きでリヨン国立歌劇場の首席コレペティートルとなり活躍する。その後もゲルギエフ、チョン・ミョンフン等のアシスタントとしてシャトレ座、ラヴェンナ音楽祭、ウィーン芸術週間などで活躍。イギリス・ダーティントン音楽祭で『イデメネオ』を指揮しデビュー、翌年も『ナクソス島のアリアドネ』の指揮者として招かれ、また新国立劇場『オルフェオとエウリディーチェ』で日本デビューを果たし脚光を浴びる。近年では日生劇場『カルメン』、新国立劇場『トスカ』、藤原歌劇団『愛の妙薬』、東京オペラ・プロデュース『放蕩者のなりゆき』、いずみホール『ランスへの旅』等を指揮し、『音楽現代』紙上で「私が注目する指揮者たち」の一人に挙げられる。和光市でヴェルディ・プロジェクト「オテッロ」「仮面舞踏会」「ナブッコ」を上演し三菱UFJ信託音楽賞を受賞。ピアニストとしてはこれまでに大岩千穂、浜田理恵、小山由美、坂本朱、重松みか、佐野成宏、堀内康雄等と共演、高い信頼、評価を得ている。

### ジャコモ・プッチーニ

Giacomo Antonio Domenico Michele Secondo Maria Puccini

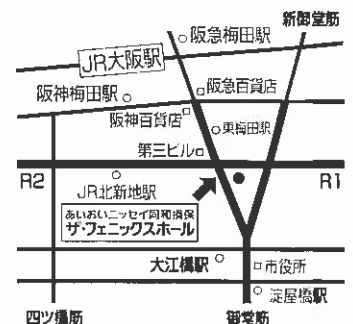
1858年12月22日～1924年11月29日)は、イタリアの作曲家。彼の代表作『トスカ』、『蝶々夫人』、『ラ・ボエム』などのオペラは今日でも上演回数がもっとも多いことで知られる。また、彼のその甘美でポエティックな旋律は、その後の映画音楽や、ミュージカルの作曲家に大きな影響を与えた。

会場：〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10(梅田新道・東南角 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー)  
チケットお問い合わせ：ザ・フェニックスホールチケットセンター TEL. 06-6363-7999(土日祝を除く平日の10時～17時)  
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

主催：Opus.7(株式会社NGK)

協賛：あいおいニッセイ同和損保(株) あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール 大阪ガス株式会社

後援：販売新聞大阪本社



あいおいニッセイ同和損保  
ザ・フェニックスホール